

2021-22 年度 RI テーマ：奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

ガバナー方針：「チェンジローター 新時代への成長に！」— コロナゼロ・カーボンゼロ支援 —

クラブ方針：「楽しく、優雅なローター活動を」～ Enjoy & Grace Under Pressure ～



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

名古屋空港ロータリークラブ

名古屋市中村区名駅 3-11-13 レジデンス鈴木 1101

[TEL] 052-446-6811 [FAX] 052-446-6812

E-Mail: rongoapt@mta.biglobe.ne.jp

会長/ 田邊 雅彦

幹事/ 川口 直也

公共イメージ向上委員長/ 杉本 敦永

例会日/毎週月曜日 12:30~13:30

例会場/名古屋マリオットアソシアホテル



空太くん

第 2068 例会

2021 年 8 月 23 日 (月) 第 7 回

- 点 鐘 会長 田邊 雅彦 君
- 斉 唱 「四つのテスト」
- 例会行事 全員協議会「会員増強について」
- ゲスト 米山奨学生 張 申童さん
- 司 会 稲熊 正徳 SAA 副委員長

会長挨拶

名古屋空港ロータリークラブ会長 田邊 雅彦 君



会員みなさん、こんにちは。

愛知県の新型コロナウイルス感染者数が 5 日連続で平均で 1,000 人を超えています。愛知県は、先週末から「まん延防止等重点措置」の対象区域を 12 市町村から 39 市町に拡大し、現在、愛知、三重、岐阜県は緊急事態宣言を要請している状況です。

新型コロナウイルスが人災か天災か不明な点がありますが、過日の集中豪雨といい、天災が続く日本。そんな日本では、昔から恐ろしいものを列挙した表現として「地震、雷、火事、オヤジ」とよく云われてます。天災関係の単語が並ぶならまだしも、なぜオヤジになったのか。もともと

日本には家長制度があり、家族に対して家長が絶対的な権力を持つことから恐ろしい表現の一つとしてオヤジが入ってるようですが、この「オヤジ=台風」ではないかという説があります。

昔の台風は『大山嵐(おおやまじ)』や『大風(おおやじ)』と呼ばれてました。

それがいつの頃からか同音異句の「オヤジ」に変化したと云われています。

「地震、雷、火事、台風」。これがもともとの並びだったのかもしれない。

さて、明日 8 月 24 日は、ポンペイ最後の日と云われています。

ポンペイはイタリアのナポリ湾に面していて、大災害の代名詞として歴史に名高い街です。西暦 79 年の 8 月 24 日、イタリアのベスビオ火山が突然噴火し、ポンペイの市街が約 8 メートルの火山灰により埋没し、一瞬にして多くの住民の命を奪ったとされています。

1738 年に地元の農夫が遺跡を発見し、現在では発掘によって当時の街の様子がそのまま出現されていますが、本格的な発掘が始まってからは 4 度の大地震に襲われ、さらに幾度とない人災にも見舞われました。第二次世界大戦中の 1943 年には、連合軍による爆撃を受け、多くの重要な文化財が破壊された街でもあります。

発掘データから浮かび上がってきたのは、現代の私たちの生活に驚くほどよく似た社会だった、ということです。紀元 1 世紀のポンペイには、多様な文化が混在し、さまざまな言語が飛び交い、人々はファストフード店でランチをとり、高級輸入食材を自宅で楽しんでいたようです。

みなさんが良く耳にされる『ポンペイ最後の日』というのは、1834 年イギリスの歴史小説家エドワード・リットンによって書かれた物語であり、何度か映画化にもされているものです。

原作の小説『ポンペイ最後の日』は、ローマ帝国の街ポンペイを舞台に、ローマの青年グロカスと財産を奪われ

た娘アイオンとの恋愛劇を中心に、悪役の僧侶アーベイシーズ、キリスト教の布教に生涯を捧げたオリンサス、そして主人公グローカスに思いを寄せる盲目の少女ニディアなど、様々な登場人物によってドラマチックな物語になっており、主人公グローカスが処刑されるという場面で火山が爆発、難を逃れ、船で逃げ延びた人々とともに滅びゆくポンペイの街を遠く見守るところでストーリーは完結します。

この物語の舞台がローマ帝国であることから、本来、登場人物の名前はラテン語で表記されるべきものですが、例えば主人公の名前はグローカスではなく、「グラウクス」となるわけですが、日本で翻訳された「ポンペイ最後の日」は英語式の、グローカスと読まれています。

これは「マイケル七変化」みたいなもので、例えば英語表記でのマイケルは
ヘブライ語では、ミカエル ドイツ語では、ミハヤエル
フランス語では、ミシェル ポルトガル語では、ミゲル
ロシア語では、ミハエルと読まれるのと同じです。
余談ですが、イタリアの芸術家「Michelangelo (ミケランジェロ)」の名は
「Michel」+「angelo (=天使)」で「天使ミカエル」の意味です

ちなみに絵画繋がりで、エドワード・リットンが『ポンペイ最後の日』を執筆するきっかけにもなったのは、ロシア美術館が所蔵するプリューロフによる絵画「ポンペイ最後の日 (1933年)によるもの、と云われています。

さて、最初に申し上げたように、日本は災害大国です。いつなごとき地震、雷、火事、台風による大規模災害が起こるのかわかりません。
国際ロータリー2760 地区においても危機管理委員会が存在し、愛知県とともに防災に取り組む協定を結んでいます。
来週9月1日は防災の日でもあります。この機に、皆さん方が防災や減災を意識されることをお願い申し上げます、会長挨拶とさせていただきます。

本日もよろしくお願い申し上げます。

委員会報告

●出席報告 (三治 明 委員)

本日の例会

会員数	47	出席率	83.72%
出席者	出席義務者 20	欠席者	出席義務者 8
	出席免除者 16	出席者	出席免除者 4
	出席者計 36	欠席者計	欠席者計 12

●ニコニコボックス報告 (稲吉 将秀 副委員長)

米山奨学生・張申童さんようこそおいで下さいました。
会員増強委員会 中島委員長宜しくお願いします。

田邊 雅彦 君
会員増強について、宜しくお願いします。
川口 直也 君
会員増強にご協力を宜しくお願いします。
中島 俊朗 君
会員増強に協力お願い致します。
石川 良治 君
全員協議会、宜しくお願いします。
波多野 真 君
皆さん、ブレイク・スルーに気を付けましょう！
太田 哲郎 君

今日も元気で！

照井 通夫 君	阿萬 裕子 君	伊藤 康司 君
田中 秀典 君	三治 明 君	北園 守生 君
山北 秀和 君	武田 英昭 君	鈴木 恵一 君
市川 孝 君	金井 和治 君	安川 正勝 君
高山 光雄 君	伊勢村道雄 君	稲熊 正徳 君
山内 佳紀 君	原田 好展 君	入谷 宏典 君
稲吉 将秀 君	暮沼勇二郎 君	中林 正人 君
真城 壮司 君	前田 幹太 君	近藤 和彦 君
國田武二郎 君		

御協力ありがとうございました。

本日の協力	31名	41,000円
本年度の協力累計		331,000円

米山記念奨学金の授与



米山カウンセラー 山北 秀和 君
米山奨学生 張 申童 さん

全員協議会

「会員増強について」



会員増強委員長 中島 俊朗 君

本日の例会はご案内のように会員増強委員会担当の全員協議会となっています。短時間ではありますが、波多野真副委員長による司会進行で、石川副委員長による案内により、3名の会員の参考意見の発表を頂く事となっています。

会員増強に皆様へご協力を仰ぎたく思いますのでよろしくお願い致します。

まず先の7月16日に行われた地区会員増強セミナーへの参加報告を行います。

冒頭に沓名俊裕地区ガバナーから、本年度RIシェカール・メータ会長はもっとも大きな課題として、この17年間世界でロータリー会員が120万人で停滞している事に触れられ、会員を130万人にしようとする会員増強の呼びかけの披露がありました、具体的には「1人が1人を呼びかける」ことの強い提案があったということです。

日本は1997年に約13万人の会員がいましたが、昨年の8月時点で9万人を割るところになっています。2760地区においても、ここ2年で200名程減少し約4600名となっているようです。（私どもクラブは先に武田パスト会長が指摘されましたように1990年代の70名以上（最大は1993年度の73名）から、以後減少傾向にあり現状47名となっています。）

全体的に3部構成のセミナー内容になっておりました

1. 地区会員増強委員会が実施したアンケート集計分析結果について

・効果的な勧誘 ・勧誘のためのツール ・勧誘ターゲットとしての若い世代や女性会員の増強についての環境整備

・例会の在り方、メイキャップ、会費、食事、同好会等

・入会理由（人脈づくり、社会貢献、事故研鑽、仲間からの勧め）

以上の項目等の結果で、地区内においても少々の特徴と多様性が認められました。

時間の都合で詳細なデータは委員会で資料を持っておりますので、関心のある方や必要な方は是非申し出てくださいようお願い致します。

2 新しい会員増強の方法として

衛生クラブ・パスポートクラブ 新しい会員種類（家族会員、法人会員、淳会員 有効会員）の説明

3 クラブ事例発表

地区内3クラブより拡大例会 基金運用 功労会員を各内容とした取組みの紹介。

最後に現状の会員増強の背景として、主観を以下に少し触れておきます。

クラブ会員の増強推進を念頭に環境整備として、2016年のRI規定審議会において大きな変革がありました。各クラブが会員のニーズを把握し、ニーズに沿って入会のハードルを下げるなど、会の在り方において多様性を認めたものとなっています。その際当然のことながら、定款の基本理念に沿った範囲で柔軟に対応し、細則改正等の取組みの手続きを行った上で認められるということです。



会員増強副委員長 石川 良治 君

続いて石川副委員長のコメントによるリードで、勧誘など会員増強の参考となるべき意見を3名の会員から発表いただき、参加者の会員増強意識を喚起させていただきました。



—ロータリーと私— 伊勢村道雄 君

私は1992年11月（平成4年11月）62歳の時に山田幹雄パスト会長のご紹介により入会して28年経過しました。

振り返ってみたとき入会したことにより私の長い人生の中で大きなプラスとなったと思っています。例会、年末家族会、春の家族会等、参加して順次馴染んでまいりま

した。
例会の中での会員の卓話は若い人でも先輩の方々でも夫々の体験から得た内容は私の心の中に感銘を受けました。素晴らしい知識、経験として身についたと思っています。

新世代委員会、社会奉仕委員会、他の委員会等への参加も大いに役立つことが出来ました。

平成9年、10年、11年と当社の社員と共に参加した「青少年活動」は素晴らしい研修効果に恵まれました。親睦委員会を体験して金井パスト会長、串田パスト会長の援助と助言によって大いに助けられました。そして皆様のご協力があってこそ成し得たものと感激しています。

こんな高齢になりましたが、会員の一人ひとりの方々がこんな私にも声をかけて下さって、若い会員を始め先輩の方々が率先して話しかけをしていただきレベルの高い気配り、優しさは内心嬉しく思っています。今後は名古屋空港ロータリーの一員として例会にいつまでも出席して行きたいと思っています。



「振り返って思う私のロータリー」 三治 明 君

私は1987年に入会させて戴き入会35年になります。当時の会員数は70数名だったと記憶しております。入会当時の私は、ロータリークラブとは、平日にホテルに集まって歌を歌い昼飯を食べる会で仕事に追われている自分にとっては、全く無縁の世界とっていました。

入会後も暫くは何となく馴染めずに退会を考えたこともありましたが、その後例会に参加する毎に段々楽しくなり、振り返りますと成人後の人生の半分近くを過ごしたことになりますが、結果として、ロータリーに入会して大変良かったと思っています。

クラブの例会や様々な催し、そして世界大会や内外姉妹クラブ訪問など、今までに体験したことのない楽しさと同時に、今更ながらロータリーの組織の偉大さに感銘を受けました。

一番感じることは職業奉仕の仕事分野が違って、ロータリーの理念を基に共有している中での友人知己が増え、仕事柄全国の出張が多く、加えて経営しているゴルフ場の関係でゴルフ団体の役員もしておりましたので、新幹線車中や様々な会合やゴルフ場で、ロータリーバッジをつけていたお陰で、多くのロータリアンと知り合い親交を深めることが出来ました。同時に仕事分野以外での視野も広くなり、当初反対だった家内も、会員の皆さ

んと夫婦どうしのお付き合いも増え、入会してよかったですと喜んでおります。価値観は人それぞれですが、少なくとも私はロータリーに入会して良かったと思いますし、その喜びを知らない人に知って欲しいとの思いで入会を勧めてきました。皆さんも、少しでもこの思いを共感されるのであれば、一人でも多くの方に勧めて戴きたいと思っています。皆さん一人でも多くの仲間を増やしましょう。ありがとうございました。



「会員増強について私が思うこと」 稲吉 将秀 君

会員の皆様もよくご存じのとおり毎年、重点項目に「会員増強」が上がります。しかし意識はしても何の具体的な施策も行動も取っていないのが現状かと思えます。年1～2回の委員会会議をして終了です。増強は会員個人の活動に依存しているのが現状かと思えます。

そしてクラブの会長・幹事・各委員長は任期は1年間であり毎年変わります。毎年同じ事の繰り返しです。

従って私は中・長期的に使用できる「会員増強戦略委員会」を作りそこでマニュアルやツールを作るべきだと思います。このマニュアルには当クラブの歴史や今まで行ってきた奉仕活動の写真や会員の皆さんが入会した動機やその後の活動や今感じている事などのコメントも載せて会員勧誘時に渡して説明すればより分かりやすく、だれでも当クラブの状況を詳しく伝えられると思えます。つまり名古屋空港RCの「見える化」です。

当クラブの活動内容は決して他クラブには劣っていません。他クラブにない①4つの海外姉妹クラブがあり交流している。②空港フォーラムという全国規模の組織がある。③すみれ会がある。④色々な親睦クラブがある。等々です。これをいかに伝えるかです。

この戦略委員会は若い会員を中心に数名とし任期は複数年とし予算もつけ継続して活動をして頂きます。その中で修正すべきは修正する。いわゆるPDCAのサイクルを回しよりよい勧誘ツールとする。出来上がったパンフレットはまず、会員に一人3部程度渡し知人や友人他に渡して頂き興味のある方々を例会にご招待して勧誘活動を行う。次のステップはターゲットをしぼり会員が所属している団体や組織への勧誘へと動く。

今年は新型コロナの関係もあり外部への活動は難しいので、まず「パンフレット」や「行動ツール」の作成を行う事から始める事が現実的かと思えます。